

3D都市モデル ユースケース開発業務委託  
公募型プロポーザル競争選定結果について

3D都市モデル ユースケース開発業務委託を実施するに当たり、プロポーザル競争によりその契約の相手方となる契約候補者を下記のとおり選定しました。

記

- 1 業務委託名 3D都市モデル ユースケース開発業務委託
- 2 実施形式 公募型プロポーザル競争
- 3 契約候補者 株式会社ユーカリヤ
- 4 全提案者の名称（申込順）  
株式会社ユーカリヤ
- 5 全提案者の評価点（得点順）

審査項目	満点 集計	契約 候補者
業務の理解度	105	85
工程の妥当性	70	50
評価テーマ①に対する的確性や実現性	140	116
評価テーマ②に対する的確性や実現性	140	118
プレゼンテーションの内容や質疑応答に対する対応	105	82
提案価格	140	140
合 計	700	591

6 契約候補者の選定理由及び選定経過

3D都市モデル ユースケース開発業務委託プロポーザル審査委員会委員7名による審査の結果、契約候補者は3D都市モデルの利活用の促進、官民連携によるまちづくりの推進を図るため、本市の現状を精査、熟知した上で、官民で利用可能なWebGISプラットフォームの導入支援、市民ワークショップ等の開催・運営支援及び、ユースケース・プラグインの検討・開発支援について具体的かつ説得力のある提案を示し、実施要領に示した合計評価点の6割を上回ったため。

7 3D都市モデル ユースケース開発業務委託プロポーザル審査委員会委員及び選任理由

所属（人数）	選任理由
大島 英司（副市長） 小平 明彦（都市整備部長） 市原 倫子（市長公室政策調査課スマートシティ担当副参事） 浅見 仁志（市長公室危機管理課長） 竹村 英紀（総合政策部デジタル推進課長） 本堂 彰（環境部環境政策課長） 高荷 博（都市整備部都市計画課長）	適正かつ適切な選定のための識見を有する者として、現に3D都市モデルに携わる者又は関わりの深い者を選任した。